

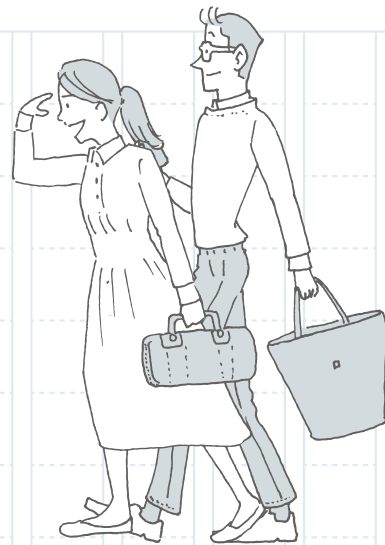
FACULTY of 2022 KOBE UNIVERSITY LETTERS

神戸大学 文学部



神戸大学 文学部を知る

学問の始まりには、かならず未知との出会いと好奇心があります。
大学は、その好奇心に基づき「知る」こと自体を大切にする場であり、
考えることの歓びを伝える場です。人類が創ってきた文化の意味を、
その根本に立ち返りながら追求してゆく学問が「人文学」です。



世界にひらかれた海港都市・神戸は、多様な文化がとけあい、独特の異国情緒を宿しています。歴史と新しさが同居するこの街は、好奇心を刺激してくれるはずです。



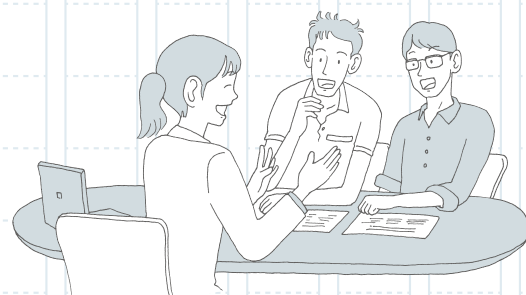
神戸で学ぶ

異国情緒豊かな街・

じっくり学べる 少人数教育

1学年学生100人、教員50数人。
未知との出会いと好奇心は、いつも偶然的、
個別的にうみだされるもの。
徹底した少人数教育と、教員の研究の質の高さにより、
個々人の驚きと好奇心を掻き立て、「人文学」の粋を伝授します。

→詳しくは各専修紹介へ(4ページ～)



織田信長・豊臣秀吉ら、いわゆる「天下人」の書状・印判状など戦国時代から江戸時代前期の重要な出来事にかかわる文書を数多く含む「中川家文書」や、昭和を代表する俳人山口誓子の旧蔵書をはじめ、貴重な歴史的資料が数多く所蔵されています。
唯一無二のコレクションを活用し、学問の扉をひらきましょう。



貴重なコレクションで
最新の学びを

国際交流

多彩な外国語・外国文学教育を実施するとともに、
オックスフォード大学をはじめ、アジア・欧米諸国の
大学・研究機関と活発に交流し、様々な留学の機会、
留学生との交流の機会を提供しています。

→詳しくはKOJSP紹介へ(20ページ)



各業界での活躍

公務員、民間企業への就職、
大学院への進学など、
優れた進路実績があります。

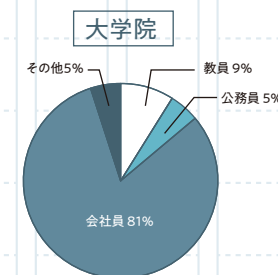
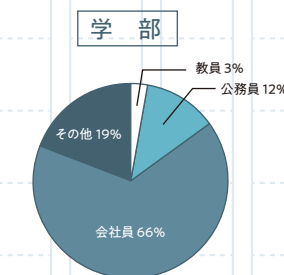
→詳しくは就職についてへ(23ページ)

●過去三年間の就職率と進学率

学部	進学率	就職率
	【進学率】	【就職率】
	14.0%	平成30年 79.3%
	14.7%	令和元年 81.0%
	15.6%	令和2年 69.2%

大学院	進学率	就職率
	【進学率】	【就職率】
	27.7%	平成30年 57.4%
	35.0%	令和元年 50.0%
	14.9%	令和2年 46.8%

●就職先の割合



●主な就職先の名称

学部	主な就職先の名称
	ゆうちょ銀行、三菱UFJ信託銀行、大和証券グループ、積水ハウス不動産関西、近鉄不動産、阪急交通社、住友商事、厚生労働省、兵庫県教育委員会、事務局、京都府庁、神戸市役所、京都市役所、日本航空、私立金蘭千里中学校、高等学校、熊本放送、伊藤忠ファッションシステム、NTT西日本、日本コプ共済生活協同組合連合会、関西電力、ダスキン
大学院前期課程	日本郵便、越谷市役所、私立淳心学院中学校高等学校、富士通、国際交流サービス協会、大和ハウス工業、ビジネス・アソシエーツ、弥栄自動車、京都府立高等学校教員
大学院後期課程	三井不動産レジデンシャル、私立東洋大学付属姫路中学校高等学校



contents

文学部を知る	1
文学部及び人文学研究科の沿革	2
文学部長からのメッセージ	3
文学部の構成	4
専修の決定	
専修紹介	
哲学	
●哲学専修	5
文学	
●国文学専修	6
●中国文学専修	7
●英米文学専修	8
●ドイツ文学専修	9
●フランス文学専修	10
史学	
●日本史学専修	11
●東洋史学専修	12
●西洋史学専修	13
知識システム	
●心理学専修	14
●言語学専修	15
●芸術学専修	16
社会文化	
●社会学専修	17
●美術史学専修	18
●地理学専修	19
神戸オックスフォード日本学プログラム	20
国際交流・留学について	21
大学院への進学	22
就職について	23
文学部の図書館(人文学図書館)	24
情報時代の文学部	
大学生活をめぐる Q&A	25

文学部及び人文学研究科の沿革

1949年	5月 31日	国立学校設置法（法律第150号）によって、神戸大学が設置され、文理学部（文科・理科）が置かれる。 文科には哲学科・史学科・文学科の3学科が置かれる。
	7月 11日	文理学部文科の第1回入学式。
1953年	3月 25日	同、第1回学士試験合格証書授与式（卒業式）。
	4月 1日	文理学部文科に専攻生制度（後の大学院修士課程）が設置される。
1954年	3月 31日	国立学校設置法の改正により、文理学部が廃止され、文学部・理学部がそれぞれ独立する。
1958年	4月 1日	専攻生制度が廃止され、文学部に文学専攻科が設置される。
1968年	4月 1日	文学専攻科が廃止され、文学部に大学院文学研究科（修士課程）が設置される。
1979年	4月 1日	文学研究科に文化構造専攻（博士課程）が設置される。
1980年	4月 1日	上記文化構造専攻と社会文化 専攻からなる大学院文化学研究科（博士課程）が設置される。
2001年	4月 1日	3学科制が人文学科1学科制に改組される。
2007年	4月 1日	文学研究科・文化学研究科が改組され、人文学研究科（博士課程前期課程・後期課程）が設置される。
2010年	9月 25日	文学研究科が廃止される。
2015年	3月 31日	文化学研究科が廃止される。



文学部長からのメッセージ

神戸大学文学部は1949年に文理学部として創設され、2019年には創立 70 周年を迎えています。この間、社会の情勢は大きく変化し、学部構成もその時々で変化してきました。今では、哲学、文学、歴史学、心理学、言語学、芸術学、社会学、美術史学、地理学など広い学問領域をカバーする15の専修によって構成されています。

学部の構成が変わっても、人類の叡智の蓄積としての古典と現代的問題を結びつけて考えるという人文学の営みそのものは不動です。アドミッションポリシーにもある通り、これからも文学部は、古典を通して人文学を深く理解するとともに、社会的対話により人文知を実践していく能力を身につけ、現代社会において活躍できる人材を育成する「場」であり続けます。

いま私たちが生きている社会は、インターネットや AI などの技術の急速な進展、また不定期に突然襲ってくる疫病や災害などによって不可逆的に変動しています。こうした時代においてこそ、これまでの人類の叡智の結晶である古典に一旦立ち返ることが求められます。これまで人類はこのような変動にどう対応してきたのか、いまの変動はこれまでのものとは本質的に異なるものなのか、そうしたことを知の根源から考える基盤を古典は与えてくれます。また、こうした学問的態度が「場」の中に自然な形で埋め込まれていることが文学部の大きな強みでもあります。

文学部では異なる文化との対話の機会も多く提供しています。2012年に始まった「神戸オックスフォード日本学プログラム」では、オックスフォード大学東洋学部日本語専攻の2年生全員（約12名）が1年間文学部で日本語・日本文化を学習します。このプログラムにより、オックスフォードの学生と日本の学生が話をしている姿をキャンパス内でよく見かけられるようになり、学生にも大きな影響を与えています。また、夏に行われるオックスフォード大学での英語・イギリス文化研修に学生が参加するようになり、海外体験への関心が高まっています。

このように文学部は、人類の叡智の蓄積としての古典と現代的問題を結びつけて考えるという人文学的営為を継承・発展させるべく努めています。「言葉や文化、人間の行動、歴史や社会に対する幅広い関心と好奇心を持っている人」、「既成の価値観にとらわれることなく、自分で問題を発見し、探求していくことができる人」（「文学部アドミッションポリシー」から）が文学部に進学してくださることを、私たちは心から期待しています。

文学部長 **長坂 一郎**
(Nagasaka Ichiro)

文学部の構成

文学部は5つの講座と15の専修によって構成されています。

人文学の古典的領域を中心に哲学、文学、史学、人文学の現代的テーマを中心に知識システム、社会文化があります。

哲 学

哲学専修

哲学は、世界や人間のあり方を根本から問う学問です。存在・心・善といった基礎的問題の探究が古代から今日まで綿々と続けられてきた一方、安楽死や生殖補助医療といった現代医療の諸問題や、持続可能な社会にふさわしい価値観の構想といったアクチュアルな問題も課題としています。

文 学

国文学専修

中国文学専修

英米文学専修

ドイツ文学専修

フランス文学専修

文学講座では、日本、中国、英米、ドイツ、フランスの各言語による文学作品を読み解いていきます。まずそれぞれの言語、豊かな「ことば」たちに出会いましょう。さらにテキストの精読を通じて各文化、各時代における人間の営みの雑多な諸相に目を凝らし、交感を試みてみましょう。

史 学

日本史学専修

東洋史学専修

西洋史学専修

史学では、古代から現代にいたる人間社会の歴史を、日本、東洋（アジア、アフリカ）、西洋（ヨーロッパ、アメリカ）の三つに区分して探求します。国家、宗派、党派、階級、都市、村落、家族、個人など社会の様々な単位の展開や相互関係を、史料に即して実証的に解明します。

知識システム

心理学専修

言語学専修

芸術学専修

知識システムでは、人間が行う認識、思考、感情、創造のあり方を探求します。三つの専修から成り、心理学は実験により認識と行動を解明し、言語学は諸言語の比較により認識と思考を解明し、芸術学は作品やメディアの分析により感情と創造性を解明します。

社会文化

社会学専修

美術史学専修

地理学専修

社会文化には、社会学、美術史学、地理学の専修があります。人間はそれぞれの地域社会において生活しながらさまざまな文化的形象を生み出しています。それらを、社会学はコミュニケーションや社会問題現象を通じて、地理学では地域空間に写像された人間活動を通じて、また美術史学では日本、アジア、西洋における造形文化の意味と受容のあり方を通じて解明していきます。

文学部人文学科

専修の決定

文学部に入学した学生は1年生の後期に進むべき専修を決定し、2年生からそれぞれの専修に所属することになります。基本的に本人の希望により専修を選択できます。ただし各専修には定員があるため、志望者が定員を超えた場合は、成績や試験、面接などによる選考が行われます。

文学部では、事前に専修ガイダンスを開催したり、「講座入門」、「人文学導入演習」、「人文学基礎」など専修決定の参考になる授業を開講しています。興味のある専修の教員に直接話を聞きに行くなど、後悔しないよう慎重に検討して志望専修を決定して下さい。

文学部で取得できる資格

- 教員免許状
 - ・中学校教諭一種（国語、社会、英語）
 - ・高等学校教諭一種（国語、地理歴史、公民、英語）
- その他の資格
 - ・学芸員、社会調査士

哲学専修

哲人たちの「なぜ?」という問いの冒険にあなたも参与しよう。そうすれば私たちの現在もみえてくる。

紀元前5世紀のアテネで「真に知恵ある」人物を求め、政治家、芸術家、職人を訪ね歩き、若者たちと「善とは何か」「知識とは何か」と対話を繰り返したソクラテス。17世紀のフランスで知識の揺るぎない土台をうちたてるために、「すべてを根こそぎくつがえし、最初の土台から新たに始めなくてはならない」と、孤独のうちに決断し、思索を透徹させたデカルト。ソクラテスのように、デカルトのように、あるいはハイデガーやウィットゲンシュタインのように、そのスタイルは違っても、哲学とは根本から問い、根本から思索すること尽きるものです。

今やわたしたちの生活世界に深く浸透する科学技術、グローバル化した社会経済そして互いに自己主張をやめることのない多様な文化と価値。そのただ中で対話し思索を透徹させることを通して、この時代を少しでもよりよく生きるための知恵そしてこの時代にふさわしい知識へとわたしたちを導く営みこそが今日、哲学と呼ばれるにふさわしいものなのです。

授業では

様々な分野を専門とするスタッフが体系的で段階的な哲学と倫理学の教育を行っています。講義では哲学・倫理学の古代から現代に及ぶ問題や概念、方法論を学び、演習では原典を読解する能力を養います。また、オフィスアワーを利用し、各学生の関心に合わせ、卒業論文の指導を行うと同時に、学生が研究成果を発表し、互いに議論しあう、哲学専修のスタッフ全員参加の合同演習も実施しています。こうした多様な演習と論文指導を通して、一人一人の学生が哲学的に考える力を身に付けることができるよう指導していきます。



最近の卒業論文から

「アリストテレス『ニコマコス倫理学』における自己愛」「持続可能な社会の実現へ向けて」「人種の表象表現に関わる諸問題の考察」「競走馬に対する動物倫理の検討」「フーコーの権力論から見た学校についての考察」

卒業後は

卒業後、社会人の道を選択することも、博士課程前期課程で2年間研究を続けることもできます。研究者を志す人は、博士課程後期課程に進学して3年間研究することができます。就職状況は順調で、民間企業に就職した人もいれば、公務員、教職についてる人もいます。おおむね2割程度が大学院に進学し、8割程度が市役所、観光業、商社、金融機関、民間教育機関、IT企業、図書館など、多方面に就職し、活躍しています。

Message

教員からのメッセージ

「美しく問う」――それが哲学の醍醐味の一つです。すなわち、与えられた問いの答えを探るだけでなく、問いそのものを自ら発見しつつ探究を進めるということです。そしてここで言う「問い」（美しい問い）とは、「解くことは容易ではないが、解かないことには自分自身が胸苦しさを感じずにいられないような」問い（＝アポリア）のことです。

そのような問いは、一般的な問いであれ具体的な問いであれ、この世界に様々な仕方でも潜んでいます。

（茶谷直人）



卒業生からのメッセージ

対話を通して知を深めることは古代ギリシアの哲学者ソクラテスが行った哲学的探究の試みですが、哲学専修にも教員や学生同士で対話を行う講義やその機会が多くありました。知識分野や価値観の異なる人と、純粋に知的な問いにフラットな立場で対話することは哲学という枠組みで集まった場でしか経験できないもので、たいへん楽しく、かつ貴重な時間だったと振り返って私は思います。人と対話し、書物と向き合いながら、必ずしも答えがでるわけではない問いに向き合い続けるという哲学の経験は、卒業後どんな進路を選ぶにせよ自身の大きな力になるのではないのでしょうか。

（下中怜史 2016年3月卒業 宝塚市職員）



国文学専修

千三百年に亙る日本語の沃土千里を拓き、日本文学の豊饒の海万里を航く。

国文学専修は、国文学、国語学の両分野からなり、古代から近現代にいたる各時代の日本語・日本文学についての研究を行うところです。人は言葉によって思考し、あらゆる思想や、人生観や、喜怒哀楽などを文学に投影してきました。日本語・日本文学の歴史と現在を学ぶことは、日本人の精神がこれまで辿ってきた道と現在のあり方、そしてこれから進むべき行く先を追究することに他なりません。そのことを通して、自分の立つ位置について確かな目を持つことは、私たちに、揺るがぬ自信と判断力を与えてくれます。

また、日本語・日本文学の研究は今や日本だけのものではありません。国文学専修は、東アジア諸国、英、米、東欧など、様々な国から多くの留学生を受け入れています。国文学専修で学ぶことは、それぞれ異なる文化的背景を持ちながら、日本人の思想や文学に強い関心を持つ留学生と交流する日々でもあります。彼らは、私たち日本人が実はいかに日本を知らないか、ということに気づかせてくれるとともに、異なる立場から日本文化を見つける視点も教えてくれます。国文学専修は、世界に開かれた目を持ち、世界に向けて日本文化を発信できる国際人を育てる場でもあるのです。

授業では

国文学専修には国文学3名、国語学1名、計4名の教員おり、各教員とも特殊講義と演習の2種類の授業を担当しています。特殊講義では、各分野での最先端のトピックや各教員の研究内容などについて、時に学生との議論も交えながら講じます。演習は、ある作品や研究論文について学生が研究報告をし、その後、教員の助言のもと、学生同士で討論するという形が一般的です。それを通じて、互いに調査や論理構築などの研究能力を研鑽します。例えば、2021年度前期の演習課題は、「日本中世文学講読」「上方読本を読む（雨月物語）」「紅葉・鏡花を読む」「頻出古文単語」の国語学的分析」です。

最近の卒業論文から

「「献灯使」論：多和田葉子と3・11」「小林多喜二「一九二八年三月十五日」論」

卒業後は

卒業後は、試験を経て大学院人文学研究科博士課程前期課程に進み、より高度な研究を続ける学生と、就職する学生とに分かれます。就職先の業種は、中高の国語科教員、各種公務員、マスコミ（出版社・新聞社等）、金融機関、シンクタンク、運輸、その他さまざまです。大学院に進学した学生は、博士課程前期課程修了後、中高国語科教員、公務員、企業等に就職するほか、一部はさらに博士課程後期課程に進み、研究者、大学教員等になります。

Message

教員からのメッセージ

どんな学問でもそうですが、国語学や国文学の研究には、周囲の動向に動かされず、自分で考え、かつ感じるということが何よりも必要です。よい研究の多くは（一見無関係に見えるとしても）研究者個人の現実生活の中で芽生えた、実存的な要求に基づいているものです。その意味で、「今」をよく考え、よく生きたいと思っている全ての人々を、当専修は歓迎します。

（樋口大祐）



卒業生からのメッセージ

当専修では、古代から近現代までの文学作品や、日本語の歴史や文法を学ぶことができます。自らが関心を持ったことについて問いを立てて研究し、先生方や先輩、学生同士での議論を通じて読みを深めていきます。

私は作品の言葉一つ一つをじっくりと味わい、さまざま資料と照らし合わせて考えた経験が、現在も生きていと感じます。膨大な情報であふれる時代だからこそ、立ち止まって吟味する視点の重要度はますます高まっています。国文学や国語を学ぶことで現代に通じる歴史や思想の原点を覗き、思う存分考えを深めてみてください。

（赤羽佳奈子 2018年3月卒業 信濃毎日新聞記者）



中国文学専修

悠久の歴史、広大な国土を誇る中国。中国の豊かな文学に出会ってみませんか。

文字通り、中国の文学を対象とした学問です。3000年余りに及ぶ歴史とヨーロッパ全体に匹敵する国土、そして12億の人口を擁する中国。この壮大なスケールを誇る中国の文化に取り組むためには、まずは中国語を読む訓練が必要です。いわゆる読み下しには頼らず、漢字一つ一つの音（ピンイン）を調べて、中国語で発音してみるところから演習の準備は始まります。さまざまな辞書や参考書にあたりながら意味を解釈していく作業は地味ではありますが、漢字の羅列でしかなかったものから立体的な文学イメージを構築できたときの達成感是十分その苦勞に報いるものです。神戸大学の中国文学専修では、中国の大学から招いた特任教員による講義が開かれており、学生は現地で第一線に立つ研究者から直接授業を受けることができます。また、古典文学と現代文学の講義をバランスよく配して、学生が自分の興味に従って選んだ研究をサポートする体制をとっています。更に自分の研究テーマだけに閉じこもることなく、さまざまな時代、さまざまなジャンルの生きた中国文化に出会うために、「文学」に限らず、「中国語学」、「中国思想」に関する授業も提供されています。

授業では

授業は大きく講義と演習の2種類に分けられます。2021年度前期、講義では「vs.世界文学」「漢魏六朝文学研究」が開講されました。教員が自らの知見を講じる講義に対して、演習とは文献を読むための技術訓練の場であり、学生が主役となって活発な議論をすすめることが求められます。2021年度前期は「中国古代文言小説」「蘇軾・陸游詩」「張愛玲散文」を選読しました。このほか、学生による論文構想発表があり、執筆中の論文について教員や同級生と活発な討論を展開しています。

最近の卒業論文から

「中国古典詩文における太鼓石」「陸游の詩の猫」

卒業後は

商社や新聞社などの民間企業に就職して語学力を発揮している人もあれば、コンピュータ関連会社でソフト開発に取り組む人もいます。国語の免許を取得して高校の教師になる卒業生もいましたが、教職の関口が狭くなった今では、公務員試験に挑戦する人が増えています。また、博士課程前期課程に進んでさらに研究を続ける人もたくさんいます。修士号取得後は教育職に挑戦する人、博士課程後期課程に進んで留学を目指す人など、さまざまです。

教員からのメッセージ

書籍だけでなく、ネットや映画、音楽、演劇など、多くの中国語に触れることで、今までの中国語圏へのイメージが大きく変わることと思います。人民共和国はもちろん、台湾や香港、あるいは東南アジア、さらに北米でも中国語を使った文学創作が行われています。中国文学は、深い奥行きと魅力を持った研究対象です。中国語に触れることは小さなスタートですが、そこから先は興味と努力次第でどこまでも進んでいけると 생각합니다。

（濱田麻矢）



卒業生からのメッセージ

高校までに漢詩や漢文を学習してきた方にとっても、中国文学と言われるとあまりイメージが湧かないのではないのでしょうか。私も現代の中国のことは全く知りませんでした。しかし数々の作品への取り組み、留学生たちとの交流や交換留学の経験など、当専修での学びを通して多様な角度から中国を知ることができました。中国と日本は、現在に至るまで様々な形で関係を築いてきました。中国文学を学ぶことは、日本を改めて見つめることにも繋がります。思い切って中国文学の世界に飛び込んでみませんか。

（丸山榮和 2015年3月卒業 大阪府立高校教諭）

英米文学専修

高度な英語力習得の先に広がる豊かで芳醇な英米文学の世界。

英米文学専修では、イギリスとアメリカを中心とした英語圏の文学の多様なジャンル—小説、演劇、詩などの純文学からファンタジー、SF、ミステリー—などまで一を、各教員がそれぞれの研究スタンスや関心に基づき広く取り扱っています。精緻な文学テキスト読解に基づき、比較文学的研究、翻訳研究、文学の舞台化・映像化などのアダプテーション研究、人種・エスニシティ・ジェンダー論的研究などを取り入れることで、英米文学（研究）の世界は無限に広がります。

シェイクスピア、ヴァージニア・ウルフ、サリンジャー、ヘミングウェイなどのイギリスやアメリカの特定の作家をより深く研究したい人はもちろん、英語圏の文化・芸術（音楽、映画、パフォーマンスなど）を究めたい人、将来のために英語力を高めたい人など、皆さんの多様な興味とニーズに応えます。

授業では

講義は幅広いテーマについて行われ、教員からの一方通行の授業になることは少なく、つねに受講生の関心と反応を見ながら進められます。演習は、受講生が英米文学のテキストを精読する方法を学ぶとともに、英語または日本語でディスカッションやプレゼンテーションをしたり、レポートや論文を書いたりして、お互いに切磋琢磨していきます。文学の背景となっている社会・歴史・文化・思想などの様々な知識を学ぶことで、文学テキストの読みは格段に深まります。また、戯曲の一場面を実際に演じてみたり、小説の一節をOEDなどの本格的な辞書を駆使して日本語に翻訳してみたりすることで、文学を学ぶ楽しさが広がるのです。



最近の卒業論文から

「カズオ・イシグロ研究」「シェイクスピアの道化について」「ボブ・ディラン研究」「ヴァージニア・ウルフ研究」「ポール・オースター研究」「サリンジャー研究」「『不思議の国のアリス』研究」「エミリー・ブロンテ研究」など

卒業後は

英語力を生かして商社や証券会社・銀行から製造業までの一般企業、公務員、中高の英語教員など、幅広く就職しています。また、大学院に進学し研究を深めて、高度専門職業人や大学教員・研究者を目指す人もいます。

教員の紹介

山本 秀行 教授

現代米文学。主にアメリカ演劇、小説を研究しています。

芦津 かおり 教授

イギリス演劇。特にシェイクスピアを中心に研究しています。

奥村 沙矢香 准教授

英文学。主に20世紀のイギリス小説を研究しています。

大住 めぐみ 特任講師

英文学。18世紀イギリス文学を中心に研究しています。

平川 和 助教

アメリカ文学。主に21世紀のアメリカ小説を研究しています。
（※2021年10月着任予定）

卒業生からのメッセージ

英語圏の社会と文学の影響関係を知り、個々の文にこめられた意義を読み解き、英語が持つ言語としての美しさに触れる。英米文学専修での学びは、いま私が教える英語を確かに支えてくれていると感じます。英語は情報伝達の道具だと言われて久しいですが、「物語る」ための英語の世界は、道具にとどまらない豊かさをたたえています。このページに名前のある作家を知らなくても大丈夫、飛び込んでみればきっと実感してもらえらると思います。

（鈴木大策 2020年3月卒業 私立淳心学院中学校・高等学校教員）



（奥村沙矢香）

教員からのメッセージ

私は二十歳の夏に出会ったヴァージニア・ウルフの『波』に「乗り」、ここまで漂ってきました。一冊の本に魂を揺さぶられる思いをするとき、異国の言葉の高波は必ずしも脅威とはなりません。むしろ波に魅せられたサーファーになったような心地さえるものです。シェイクスピアにヘミングウェイ、ディケンズにT.S. エリオット…知っているようで知らない英語の文学の世界、身近な未知の場所に、あなたも出かけてみませんか。

（奥村沙矢香）

ドイツ文学専修

ドイツ語文化圏を知ることは、ヨーロッパを理解する鍵。

ドイツ文学専修では、ドイツ語で書かれた文学を研究対象としています。ドイツ語はヨーロッパの中心に位置する4つの国、ドイツ、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインの公用語です。また、北イタリアやフランスのアルザス地方、ルーマニアのトランシルヴァニア地方などにもドイツ語を話す人々が住んでいます。これらのドイツ語圏の国々や地域は、歴史的・文化的にオランダやチェコ、ポーランドなどの近隣諸国と深いつながりをもっています。これだけの広がりをもつドイツ文学／ドイツ語文学は、さらにまた、哲学や音楽といった他の学問領域とも密接な関係にあります。つまり、ドイツ文学専修で学べることは、みなさんが想像する以上に広範なものなのです。

授業では中世から21世紀までの文学を幅広く取り上げます。まず文学的なテキストとの付き合い方を学ぶことから始め、ドイツ語で書かれたさまざまなテキストを緻密に読み解く作業を通して、作品の構造やテーマ、思想といったものを考察していきます。そこにはこれまでまったく知らなかった世界が広がっているはずです。

文学研究が扱うのは人間そのもの。文学を学ぶことは、私たちの生きる世界を確実に広げ、豊かにしてくれます。

授業では

ドイツ語は4年間かけてしっかり学習します。文学作品を読みこなすだけの読解力を習得するための授業のみならず、コミュニケーション能力を重視した授業もネイティブの教師によって提供されています。それと並行して、ドイツ文学史やドイツ文学特殊講義といった授業を通して専門的な知識を身につけ、演習でレポートや論文の書き方を学んでいきます。卒業論文を仕上げるのが最終目標ですが、それが無理なく完成できるような仕組みになっています。ドイツ文学専修は小さな専修ですが、大学生活の中では、この小ささが大きなメリットになります。毎日の授業は少人数で行われるので、教員の指導が行き届き、学生同士も親しい人間関係を作りやすくなっています。



最近の卒業論文から

「ティークの『金髪のエックベルト』における物語世界の混沌」「ケストナーの『ファービアン』における女性たち——戦間期ベルリンにおける社会と個人」「グリム童話における沈黙について」「トーマス・マン『トリスタン』における生と死の狭間」「シュリンク『朗読者』における〈場所〉について」「E.T.A. ホフマン『黄金の壺』におけるクリスタルの比喻について」「『鏡のなかの鏡』にみるミヒャエル・エンデの世界観」「ホフマンスタール『アンドレアス』における動物表象」「ヘルマン・ヘッセ『ガラス玉演説』について」「トーマス・マンと海」

卒業後は

就職先はさまざまですが、中学校や高等学校の英語教員になる卒業生、あるいは一般企業でも新聞社や航空会社のように、語学力を生かせる職場を選ぶ卒業生が多いです。ここ数年は公務員を志望する学生が増えています。毎年何名かは大学院に進学して、より専門的な研究を続ける卒業生も少なくありません。

教員からのメッセージ

ゲーテやカフカといった名前に代表されるように、ドイツ文学は近現代の人文知において重要な一角を担ってきました。哲学や宗教、造形芸術や音楽との様々なつながりも見逃せませんし、身近なところではグリム兄弟やエンデなどの手によるいわゆる児童文学から興味を持つ人も多くいるでしょう。本専修では広く深く、ドイツ語圏の文学・文化・思想を研究することができます。みなさんも独文の大海原に漕ぎ出してみませんか。

（久山雄甫）



卒業生からのメッセージ

ドイツ文学専修で学ぶことができ、大変満足しています。語学やドイツ語圏の文学について深く学べることは言うまでもありませんが、学生同士や先生方との距離が近く、多方面でバックアップしてもらえる環境だと思います。私自身、ドイツのハンブルクへ長期留学する機会にめぐまれましたし、その後、休学して東京で半年間インターンシップに参加しました。そこで得た経験や人脈は、私の人生にとってかけがえのないものになりましたが、それは周囲の理解があったからこそです。私は自分自身にとって最適な環境を見つけることができたと思っています。みなさんも自分にぴったりの専修を見つけて、充実した学生生活を楽しんでください。

（木佐勇介 2018年3月卒業 東京書籍勤務）



フランス文学専修

フランス語を通して、新しい自分を発見する愉しみ。フランス語を使って、自由に精神を展開する喜び。

フランス文学などというと、どことなく遠い存在のように感じられる諸君がいるかもしれませんが、そんな諸君でも、バルザックやスタンダールやゾラ、それからラシーヌやコルネイユ、そしてボードレールやランボーといった名前なら、どこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。これらの作家たちは、長い間にわたって、わたしたちの精神の形成に大いに役立ってきましたし、今後もわたしたちを導き続けるだろうと思います。その理由は、フランス文学が、その流派や思潮の違いを超えて、どんなときでも「人間」とは何か、「言語」とは何かと真剣に考えてきたからではないのでしょうか。神戸大学のフランス文学専修では、特に近現代文学を中心とした講義やゼミの中で、多様な角度から作品にアプローチしようと試みています。こうした試みから、ある作品がこれまでとは違う相貌のもとに現われてくるかもしれませんし、新たな読みの可能性が開けてくるかもしれないからです。フランス文学の面白さは、こうした発見の場に自ら参加し、立ち会えるということにあるといってもいいでしょう。

授業では

授業は大きく二つに分けられます。特殊講義ではフランス文学史や現代批評などを学び、ゼミ形式の演習の方は、いわばそうした知識を基にした実践編で、具体的な作品を扱い、受講生の発表と討論で構成していきます。フランス人教師による会話や作文の授業もあります。特筆すべきは、どの授業も少人数教育で、教師が学生一人ひとりをよく観察し、理解度を確認しながら授業を展開するよう心がけている点です。さらに、学生同士、そして教師と学生諸君との間につねに自由な雰囲気の中で建設的な対話が交わされることも私たちの誇りとする点で、そうした対話を通して、自らの精神を見つめ直し、発展させていくきっかけがつかめるものと確信しています。



教員の紹介

中畑 寛之 教授

フランス近現代文学。特に、ステファヌ・マラルメを専門とする。エクリチュールと社会・政治・歴史との関わりを研究しています。

最近の卒業論文から

「ジャン・コクトー『恐るべき子供たちーポールとエリザベートの子供への回帰』、「エマニュエル・ボーヴ研究ー『のけ者』における「居心地の悪さ」をめぐって」、「ターハル＝ベン・ジェルーン研究ー『聖なる夜』で描かれる性のあり方」、「ミシェル・ウエルベック研究ー黄昏時の資本主義社会におけるノスタルジアを描く」、「マリー・ンディアイ研究」、「カメル・ダーウド『もうひとつの『異邦人』ムルソー再捜査』研究」

卒業後は

卒業後の進路はさまざまで、どの分野のどういった職種が多いといったことはありません。けれども、ここ数年、公務員志望の学生諸君が増えてきたように思います。在学中に留学し、フランスで得た経験が将来を考えるうえで多いに役立った学生もいるようです。最近では、語学力を生かして高校の先生とか新聞記者、さらには語学学校のスタッフになるケースがありました。また、大学院志望の学生も少なくありません。

Message

教員からのメッセージ

フランス語？ フランス文学？ 皆さんは今まで考えたこともなかったひとつの道を前にしています。その道がいったいどこに繋がっていくのかはまだ分かりません。ただ、新しい言語を学ぶことはこれまでとは違った思考方法やものの見方を身につけることに他なりません。ですから、人間をさまざまに描き出すフランス文学に親しむことは皆さんを未知の世界へと誘うだけでなく、思いがけない自己を発見する契機になるだろうとは確言できます。まず第一歩を。

(中畑寛之)



卒業生からのメッセージ

「なぜフランス文学を選んだんですか？」よく聞かれるのですが、自分でも不思議です。特別フランスという国やその言語に惹かれていたわけでもない、ましてやフランス文学なんて読んだこともなかった私が、気づけばパリ留学までしてパリの「仏文生」になって卒業したのですから。きっかけは色々ありますが、なんと言っても先生方、そして講義が面白かったことが決め手でした。しかも仏文は少人数制ですから、その魅力的な専門家たちに、たくさんいる生徒の一人ではなく個々として向き合っ教えてもらえる贅沢っぷり。気づけばフランス文学の魅力にどっぷりはまっていた。是非軽い気持ちで授業に出てみてください、私の言葉の意味がわかるはずです。

(河内麻実 2016年3月卒業 東京テアトル株式会社勤務)



日本史学専修

過去との対話を通じて浮かびあがってくる私たちが生きる現在。

日本史学は、現在「日本」と呼ばれている列島およびその周辺地域の歴史を研究することを目的とします。もちろん、より広く国際社会の中での「日本」の位置を歴史的に考えることも、研究の対象になります。歴史の研究といえは、過去の世界にひたすら埋没するように思われがちです。しかし、歴史を研究することは、何よりも私たちが生きる現代社会をより深く理解することです。なぜならば、私たちが歴史に対して抱く興味や疑問は、今生きている私たちが抱えている問題と直結しているからです。また、過去の出来事を様々なデータ（文献史料、発掘成果、地理的条件、自然的条件等々）を駆使して復元し、その意味を時間軸に位置づけて問うことは、現在おこりつつある事象を理性的に理解することに直接役立ちます。歴史という「根っこ」を持たないものを想像することができますか？ 何を知るにも、その第一歩は歴史から始まるといってもいいでしょう。江戸時代のある哲人は「学問は歴史に極まり候ことに候」と言い切りました。現代的な意味においてもこの発言は的を射ています。卒業論文を完成したとき、皆さんが社会を見る目が、大きく変わることを私たちは確信しています。

授業では

日本史学専修の授業には二つの特色があります。第1は学年ごとに到達目標を定めた授業が充実していることです。1年次には大学での研究の基礎をゼミ形式で学ぶ授業を提供しています。2年次には3年生と混成チームで史料を使ったレポート作成に挑み、日本史研究の基礎となる史料の扱い方を学びます。3年次には4年生の卒業論文作成ゼミに参加し、自分が取り組むべき問題を絞り込んでいきます。これらの授業を通じて、同学年・先輩・後輩とともに学ぶ姿勢が自然に身につきます。第2の特色は、大学での研究と社会の接点について考えるプログラムが充実していることです。地域の古文書を調査したり、博物館や文書館と共同して展示会の企画運営に携わったりするなど、社会との関わりを持ちながら、自分の研究を進めることができます。



最近の卒業論文から

「八世紀における東大寺の荘園経営と地域社会」「八世紀における郡司層の中央出仕をめぐって」「院政期における貴族の人事と家格秩序」「中世前期における多武峰・鎌足木像破裂の政治史的考察」「享保江戸における出版統制体制の確立」「在郷町池田における町政機構の改革」「明治中期における地方私立中学校論ー篠山鳳鳴義塾を事例としてー」「初期社会主義における農村社会論ー農村問題をめぐる議論の展開過程ー」

卒業後は

学部の卒業生の進路は、就職と大学院進学の大きく二つに分かれます。就職先は一般企業（金融関係、メーカー、マスコミ関係、教育関係など）や公務員など、他の学部と極端な差はありません。中学校・高等学校の教員や博物館学芸員、文書館に勤務するアーキビストなどの専門職を志望する学生の多くは、大学院博士課程前期課程に進学します。前期課程を終えて、一般企業に就職するケースも少なくありませんが、さらに専門性の高い職種を目指す学生は博士課程後期課程に進学します。

教員からのメッセージ

歴史上の事件の意味を知るためには、それが起こる舞台とそこで働く力学を史料の読み込みやフィールド・ワークを通じて復元していく、論理的思考と想像力が必要です。また、そうして得た自分の知見を叙述するためには、文学的な技能も求められます。そう言われるとしんどく聞こえるかもしれませんが、逆にいえば、歴史学はこれらの力を養い、私たちに与えてくれる学問だといえます。それだけではありません。歴史に問いかけ、歴史を語る自分とはいったい何者なのかを、自省的に考えることも歴史学の営みです。これらの力や営みは、現代の社会において特に必要とされる力だと思います。一緒に知性をフル稼働させてみませんか。



(市澤哲)

卒業生からのメッセージ

日本史学専修では、たくさんの問いかけをしていただきました。「本当にそう言えるのか」「なぜそうなるのか」。当時はなかなか答えを見出せずに頭を抱えていましたが、それらの問いかけは、教員として働くいま、私を支えてくれているように感じます。歴史をはじめとする人文文学は、科学技術のようにすぐに私たちの暮らしに役立つわけではありませんが、人間が豊かに生きていく上でとても大切なことを、私たちに教えてくれると思います。それは、一度立ち止まって物事の本質を問うということです。問いかけを大切にする日本史専修での学びを通して、歴史学のおもしろさを体験するとともに、人生の豊かさについて考えてみてください。

(岡崎慶子 2015年3月卒業 静岡県立浜松工業高校教諭)



東洋史学専修

今後ますます重要になる東アジア世界とイスラーム世界の歴史と文化について考える。

ヨーロッパを除いたユーラシア大陸の全域が東洋史学の研究対象とする地域です。そこには古来、複数の文明と宗教、多数の民族と言語が存在してきました。当専修では、二つの主軸を設定して教育カリキュラムを組んでいます。一つは、ほぼユーラシア大陸をおおうイスラーム世界であり、いま一つは我が国の歴史とも密接な関係をもつ東アジア世界です。

学生諸君はアジア全体への視野と基礎知識を養いつつ、自らの対象領域を選択しなくてはなりません。原語の文献史料に取り組めるレベルにまで到達するのは、決して容易なことではありませんが、じっくりと腰を落着けて勉強するのが好きな人には、逆に向いているとも言えるでしょう。そして、ユーラシアの歴史に対する理解がすすめば、一見身近に感じられる「アジア」「東洋」が私たちの「常識」とは違う「常識」を持つ世界であり、その「常識」も実に様々であることがわかってくるでしょう。東洋史を学んだあとに見えてくるアジアは、きっと今の皆さんの持っているアジア・イメージとは別のものになるはずです。

授業では

カリキュラム・授業内容の特色としては、中国語（古典中国語〔漢文〕と現代中国語両方を含む）、アラビア語、ペルシア語、トルコ語など、自らの興味ある分野に関する語学面での訓練を重視し、それらの言語で書かれた原史料、原書を使いこなせる学生の育成につとめている点があげられます。授業は、西アジア史、南アジア史、中国各時代史が中心ですが、そのほかの領域についても、専門知識を有する非常勤講師に担当してもらうことによって、ほぼトータルな東洋史知識が得られるように構成されています。最新の授業科目からいくつかをあげると以下のようなものがあります。

「1793年のマカートニー使節団の研究」、「中国王朝の人材登用と社会変動」、「南アジア・イスラーム社会史研究の諸問題」、「アラビア語辞書編纂史」、「資治通鑑」講読、「マクリージー『道の書』」。

最近の卒業論文から

「20世紀前半中国における従軍女性」「朝鮮王朝時代の医女に関する一考察」「13世紀後半におけるルーム・セルジューク朝スルタンの支配の正統性」「アブデュルハミト二世期（1876-1908年）におけるミュルキエ校」「18世紀-19世紀前半におけるオスマン帝国の遣欧使節」「9-11世紀のスイースターンにおけるアイヤール」「唐代前半期西州における馬匹管理」「宗教と科学のあいだ：非基督教運動から科学と人生観論争へ」「北魏末における閼隴地域の反乱」「台湾民主化における『美麗島事件』」

卒業後は

卒業後、大学院に進学してさらに研究を続ける者の他は、就職を選んでいます。就職先は民間企業、公務員、中高教員など多岐にわたっています。

Message

教員からのメッセージ

私たち東洋史研究室の最も大きな特徴は、東アジアと西アジアの歴史を同時に学べることにあります。読書室の大きな長机の東側には現代中国語辞典や漢和辞典に加え、漢籍や朝鮮語文献が並び、西側にはアラビア語・ペルシア語・トルコ語の辞書や文献が並んでおり、東西を隔てる長机はまるでユーラシア大陸の漢字圏と非漢字圏を隔てる境界のようです。1冊数万円もする貴重な現地語の辞書を奪い合いながら、学生たちはこの読書室で和気藹々と授業の予習や論文の執筆に励んでいます。みなさんも一度、読書室を覗いてみませんか。

（緒形康）



卒業生からのメッセージ

私は昔から三国志が好きで、専門的に学んでみたいと神大文学部に入学し、東洋史学専修に入りました。そこで感じた東洋史学専修の魅力を、2つ紹介します。1つは、自分が興味のある分野を研究できる楽しさです。研究したいことがまだ定かでなくても、少人数教育体制で、先生方が懇切丁寧にサポートして下さいます。もう1つは、多様な言語との出会いです。私も中国語や西アジアの言語等、多くの言語に触られました。身につけた自らの力で史料を読むことは、他では得難い経験です。

貴方も東洋史学専修で、自ら歴史を紐解いてみませんか？

（大内望 2017年3月卒業 大阪府高校・高等部教員（地理歴史科・世界史））



西洋史学専修

広い世界・遠い世界を、多様なアプローチで再構成することが可能な、間口の広い学問です。

西洋史学が研究対象とする西洋社会が19世紀に生み出した文化は、世界の多くの地域に影響を与えました。日本も例外ではなく、明治以来西洋社会は学ぶべき対象とされ、その西洋社会の歴史学を学ぶ西洋史学には特別な地位が与えられていました。しかし今日一つの価値基準に合わせて世界が動かされる時代ではなくなっています。従って旧来の「西洋史学」は没落したわけですが、しかしそこから西洋史学の再生も始まります。「モデル」を対象とした西洋史研究では見えてこなかった様々な事象が、世界史の中でよみがえります。時代の先端に立って、ともに西洋史学を切り開いていきませんか。

神戸大学文学部の西洋史学は専任教員が4名で、古代から現代までの時代をカヴァーしています。教員はフランス、イタリア、ギリシア、ソ連・東欧といった地域を中心に研究していますが、卒業論文研究はイギリス、アメリカはもちろん、欧米とアジアの関係なども含め、自分の関心に即して自由に選べます。例年、非常勤の先生にもお越しいたごき、幅広い内容の授業を提供しています。

授業では

西洋史の授業は、基本的に4年間の学習で卒論の作成が可能となるよう、有機的に組み合わせられています。1年次には史学入門や人文学基礎（西洋史）に参加して、大学で西洋史を学ぶための問題意識を育てます。2年次から洋書講読（英・仏・独）の演習に参加し、研究に必要な基礎学力を身につけます。特殊講義はそれぞれの教員が最先端の研究について講義するもので、現段階での研究の到達点を知ることができます。専任教員がカヴァーできない分野は非常勤の先生の応援で補っています。研究テーマが絞られてくる3年次からは卒論作成のための演習に参加し、大学院生のアドヴァイスや教員の研究指導を受けつつ研究を進めて、4年次で卒業論文を完成させることになります。



最近の卒業論文から

「古典期ギリシアにおける神話とジェンダー—エフェソスのアマゾン神話を中心に」「スパルタの外交政策と神話の関係性」「中世ブルターニュのキリスト教と民衆信仰—9世紀から13世紀の聖人伝を通して—」「中近世アルプス地域における商業・交通—ベルニナ峠の事例から—」「18世紀末から19世紀初頭のバリにおける服飾品小売」「19世紀末から20世紀前半のイギリスにおけるチョコレート消費」「19世紀イギリスのインド植民地：インド高等文官を中心に」「20世紀転換期アメリカの映画産業と移民の流入—エジソン・トラストが残したもの—」「ソ連の作曲家D.ショスタコーヴィチの実像—政治権力と作品解釈の観点から—」

卒業後は

西洋史学の授業は狭い意味での職業教育ではなく、広い教養と歴史的なものの見方を身につけ健全な判断力を持つ市民の育成を目指しています。したがって卒業後の進路も多様で、民間企業、公務員、教師などさまざまな職種がありますが、中には海外で活躍するチャンスのある職業を選ぶ人もいます。大学院進学者は2〜3名で、少なくともその半数は博士前期課程修了後に公務員、民間企業などに就職していきます。

教員からのメッセージ

西洋史は西洋という「他者」の歴史を古代から現代まで研究する学問です。そこには「他者」の歴史ゆえの難しさは当然ありますが、現在の日本から「距離」がある分、それだけ思考の地平を広げてくれる分野といえるでしょう。また、今現在の欧米世界を理解するためにも過去へのまなざしは重要です。先人の研究蓄積を手がかりに外国語の文献・史料を読み解いて自らの見解を見いだす作業は大変ですが、それだけに達成感や喜びにも大きいものがあります。



（高田京比子）

卒業生からのメッセージ

西洋史学専修の魅力は、研究を通じて「広く、深い学び」を得られる点にあると思います。自分がこれまで訪れたことのない地域や、経験したことのない文化の歴史について学ぶことは、刺激的であり、自分の知見を驚く程広げてくれます。一方で自分が設定したテーマとじっくり向き合って研究を行う経験は、社会に出てからも皆さんが様々な問題と向き合い、解決するための手立てを与えてくれると思います。あらゆる面で国際化が進む今、世界に目を向け、多くの知識を得ながら自分の考えを深めることは、きっと皆さんの人生を豊かにしてくれるはずです！

（井上俊希 2017年3月卒業 兵庫県立高校教員）



心理学専修

人間の知覚・意識・行動のメカニズムを実験により科学的に解明します。

人間の“心”と“行動”について科学的な理解をめざす研究領域です。ものを見たり聞いたり触ったときに生まれる「感覚」や「知覚」はどのように成立するのか？そして、そのことを覚えておいたり、それについて考えたりする「記憶」や「思考」という情報処理過程はどのようにしているのか？好きな人や嫌いな人に会うとなぜ特定の感情を経験するのか？ある友人は信頼できるのに、別の知り合いのことは信頼できないのはなぜなのか？等々、心理学専修で実証的に扱う問いはもっとたくさんあります。このような問題に対して、実験という手法で挑むのですが、一口に実験といっても、実は多様な“答え”を出すことができます。たとえば、ある心理現象に脳がどのように関わっているのかを調べることもできるでしょう。どのような場合に特定の感覚や行動が生じやすいのかを調べることで、そのような感覚・行動を引き出す要因を明らかにすることもできるでしょう。また、そもそもそのような行動がなぜ人間に備わっているのかを考えることもできるでしょう。私たち心理学専修の教員と学生は、人間の“心”と“行動”を深く理解することを目指して実証的な研究を行っています。

授業では

実証的な研究スキルを養うため、実習に力を入れています。「心理学初級実験実習Ⅰ」では、1単元につき1～2週間のペースで心理学の幅広い分野における基本的な実験を行ないます。そして、各単元について、実験の目的・方法・結果・考察という構成のレポートを提出します。このレポートは、心理学専修の卒業論文作成への練習にもなります。さらに「心理学初級実験実習Ⅱ」では学生本人がテーマを選び、1学期につき2つ程度の実証的研究を行います。また、データ分析に欠かせない心理統計と分析ソフトウェアの使い方を学習します。これら実習科目の基盤となる知識を得るため、各教員の専門領域を中心とした講義や演習を毎学期開講しています。



最近の卒業論文から

「骨導音を用いた聴覚実験」「歩きスマホ時の間隙通過」「視覚刺激に対する審美・情動評定に関わる認知メカニズム」「脳刺激による嘘つき能力の影響」「友人同士・恋人同士の絆の確認と嫌悪感の関係」

卒業後は

就職先の職種としては情報関連、流通、出版、および公務員等が一般的です。大学院に進学する人も少なくありません。心理学専修の内部で進学する人たちは、修士課程2年間で自分の研究をさらに深めて一般企業や公務員として社会へ出る人と、博士課程に進み研究者への道を歩む人がいます。文学部心理学専修では公認心理師の資格取得はサポートしていませんのでご注意ください。

Message

教員からのメッセージ

心理学というどのようなイメージを持ちますか？テレビや雑誌で目にする性格検査のようなのでしょうか？ところが、それは実際の心理学とは全く違います。心理学では実証的・科学的研究手法により人間の心の動きを調べています。脳波や眼球の動きを測ることもありますし、実際に特定の状況で人々の行動がどのような変化するかを調べることもあります。皆さんも、私たちと一緒に人間の心の動きを科学的に研究してみませんか？

(喜多伸一)



卒業生からのメッセージ

心理学を勉強していました」と言うのと「人の心が読めるの?」と言われます。実際の心理学では、残念ながら心を読むことも操ることもできませんが、人の脳やそこに宿る心の根源的な部分を学ぶことができます。私たちはどうやって五感を使って外の世界を知覚しているのか。また社会の中で、他者の存在や行動が自分にどのように影響しているのか。論文を読み解いたり実験を行ったりしながら、それらを幅広く学べる専修です。実験や調査といった研究手法は文学部の中では少し特殊かもしれませんが、その魅力的で達成感があります。

(山内一輝 2020年3月卒業 (株)山崎製パン勤務)



象は鼻が長い？

言語学専修

「ことばのない世界を想像できますか？ー言語学」

普通の人間であれば誰でも4歳ぐらいまでには少なくとも一つの言葉をほぼ完全に母語として習得します。しかし、大きくなってからの外国語の習得は困難です。また、自転車に乗ったり、道具を駆使できるチンパンジーなどでも、人間言語を習得できません。これは一体どうしてなのか、という素朴な疑問が現在の言語学の中心的課題です。この謎を解くためには、世界の言語に共通する特性、また個々の言語を特徴づける相違点などを研究したり、さらには言葉の社会的変容(方言)や歴史の変遷などあらゆる角度からの文法研究や、幼児の言語習得の実体やその背景となる人類の認知システムの研究などを進めなければなりません。

その一方で、言語の研究は人工言語(コンピュータ言語)や音声認識・自動翻訳機の開発をはじめとする自然科学・工学領域、ならびに言語障害の治療をはじめとする音声言語医学の分野とも深く結びついていて、また、広告・マスコミの分野においても言語の本質の理解は不可欠なものとなっています。

知識システム講座に所属する言語学専修は、日本語研究から英語学など個別の言語研究とともに、音韻論、文法論、意味論、を含む幅広い研究分野をカバーする教育・研究体制をとっていて、カリキュラムの充実を誇っています。

授業では

言語学専修の特色は、まず教育・研究体制のバランスにあります。言語学専修では授業を系統的に受講するようになっています。言語学の全体像を知ってもらうため、1年次には入門、次いで2年次での専修配置後には、音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論の各論に関する講義・演習を受講していきます。歴史言語学、心理言語学、社会言語学、自然言語処理演習、言語類型論、語用論などの諸分野に関する授業も集中講義などの形で受講できます。留学生も多くて、いろいろな言語のバックグラウンドを持つ学生たちと共に勉強できるのも、言語学専修の魅力の一つです。



最近の卒業論文から

「英語の動詞の多様性と構文の研究」「ケド節による言いさし文の語用論的考察」「Primary content/secondary content再考」「日本語談話表現におけるアイロニーとネガティブ度との関連性」「複合語短縮の音韻・形態構造」「格助詞カラの早期実現用法」「大阪方言の存在表現「イテル」について」「マンガにおける音描写の日英比較」「擬音語における長音の表記について」「ロシア語から日本語への借用語における音韻変換について」「日英語における類義語の対照実験調査ー「机」類を表す名詞を通してー」

卒業後は

言語学は1996年4月に文学科(旧)の一つの専攻課程として設立されました。2000年3月に第1期の卒業生を送り出しました。教職に就く道、大学院への進学、マスコミやコンピュータ・IT関連の企業への就職と、言語を駆使する広領域での活躍の可能性あります。

教員からのメッセージ

歴史や文学などとは異なり、言語学は中学や高校で学ぶ科目の中には入っていませんが、ことばは私たちの身近なところに存在しています。「ことば=人間」と言ってよいほど、ことばは、私たち人間の特徴を物語るものです。私たちは子供の時からことばを使って生活していますが、私たちがことばについて知っていることはごくわずかにすぎません。言語学は、ことばに対する素朴な疑問を出発点とし、ことばの法則性を見つけ出し、ことばの不思議さと面白さを探究していく学問分野です。

(岸本秀樹)



教員の紹介

岸本 秀樹 教授

言語学・英語学。特に、統語論と語彙意味論。主に生成文法の枠組みを用いながら文法の研究をしています。

田中 真一 教授

言語音声(音声学、音韻論)を中心に研究しています。日本語(東京方言、大阪方言、名古屋方言)や外国語(イタリア語等)の音声現象の法則性を探るとともに、言語間・言語理論との関係、日本語音声教育への応用等に関心を持っています。

澤田 治 准教授

言語学(意味論・語用論)。ことばの意味・使用の背後にあるメカニズムについて研究しています。近年は、程度表現、感情表出表現、モダリティ等、コンテクストや話者の主観と深く関わった表現の意味解釈のメカニズムについて考察しています。

卒業生からのメッセージ

言語学は言語を科学的に研究する学問です。例えば、皆さんは友達とお互いの方言を紹介し合ったり、似た意味を持つ2つの言葉のうちどちらがより伝えたいニュアンスに近いかを考えたりしませんか？実はこれらは言語学の一部で、こういった何気ないことをきっかけに「言語」について突き詰め、その仕組みを解き明かすことを目標にします。自分の興味や疑問について考え追究するのは大変ですが、やりがいがあります。ぜひ言語学の扉を叩いてみてください。

(桐原爽佳 2019年3月卒業 (株)ジャステック勤務)



芸術学専修

「好き」にこだわる感性と、「好き」をクールに分析する知性。

造形芸術、音楽、演劇、写真、映画など、「芸術」は、人類の生み出した最も偉大な精華のひとつとして、汲み尽くせない意味をもって私たちに語りかけています。この語りかけに学問的に応えること、それが、芸術学専修の目指していることです。

古今東西、多様なしかたで現れる芸術の研究方法には、次のふたつがあります。ひとつは、芸術一般を原理的、理論的に考察すること、もうひとつは個別の芸術ジャンルを具体的に分析、研究することです。前者では、芸術創造のメカニズム、芸術体験の構造、想像力の問題、また芸術ばかりでなく自然美や身近な美しいものに触れたときの美的経験、共通感覚など、論理や数値では説明しがたい興味深いテーマも扱います。また、後者の個別芸術の研究では、造形芸術（建築・デザイン論、現代アート論）、映像芸術（写真論、映画論、メディア・アート論）、上演芸術（演劇・舞踊・パフォーマンス論、クラシック／ポピュラーを含む音楽論）などが主な対象となります。とはいえ、このようなふたつの研究方法には共通点があります。それは、美的経験にダイブする感性と、好きや趣味への耽溺からあえて身を引き離し、冷静に分析しようとする知性です。

授業では

講義、演習、卒論演習から構成されています。講義は、さまざまな美学思想や芸術理論を概観し、諸芸術をめぐる具体的なトピックを取りあげて多角的に考察していきます。スタッフは少ないですが、諸分野からの非常勤講師（例えば現代舞踊、マンガ研究など）によって、広い芸術領域をカバーしています。演習では、芸術理論に関わる基礎文献の読解と、個々の作品分析に力点を置きます。ここでは学生が主体的に参加し、資料の扱い方、作品へのアプローチ法などを修得します。卒論演習では、卒論作成の準備として主に3、4回生が発表を行い、全員でディスカッションします。1、2回生もテーマの選び方や発表方法などを学ぶ意味で積極的に参加してもらいたいと考えています。



教員の紹介

長坂 一郎 教授

建築学・デザイン論。主担当は文学部人文情報学専修。ものを「使用する」という側面からデザイン理論の再検討を行い、人間中心主義に代わるデザイン理論の可能性について考察している。

大橋 完太郎 准教授

芸術学・表象文化論。近現代のフランスを中心に、人間やその知のあり方と芸術・技術や自然との関わりを考えています。

最近の卒業論文から

「現代におけるコラージュ」「楽器演奏と身体—マリンバ曲〈Rhythmic Caprice〉研究—」「webマンガはどのように読まれているのか」「廃墟ブームにみられる廃墟観の変容」「日本のミニチュア—江戸小物細工にみる縮小の日本文化—」「アトラクション、映画、ツアー—ヘイルズ・ツアーと現代の受容経験」「歌集という世界—穂村弘『手紙魔まみ、夏の引越し（ウサギ連れ）—』を通して」「道化とジェンダー」「相米慎二『台風クラブ』研究—『台風クラブ』を支配する不穏ものの正体について—」「『百合』の漫画表現学的分析」「ビロッチィ・リストのビデオ・インスタレーション研究—世界に色を取り戻すビデオアーティスト—」「アニメーションとテクノロジー—『トイ・ストーリー』作品分析—」「シンディ・シャーマンの写真作品におけるおどろかし」

卒業後は

民間企業（新聞、出版、広告、商社、運輸、金融、建築、製造などの各業種）に就職する者のほか、公務員になる者、また芸術への感性を生かしてマスコミ、都市計画、デザイン関係で活躍する者、大学院に進学して研究を続ける学生など、さまざまです。なお、困難な道ではありますが映像作家や脚本家へと進んだケースもあります。映画監督などの実作活動へと進んだ者、海外でフリーのライターやジャーナリストとして活躍している者もいます。

Message

教員からのメッセージ

デザインされた建築やモノ、芸術作品や映像配信が絶え間なく語りかけてくる現代の生活において、感性の領分はますます重要性を増しています。芸術学は、各ジャンルの作家や作品を分析するだけでなく、さまざまな感性の仕組みや、それが生まれた歴史的経緯、それを触発する具体的な環境を対象とする学問です。多様な文献を読み解く語学力を鍛える必要はありますが、自ら研究計画を立てることのできる人にとっては、芸術学の勉強は人間の創造性や文化の源を探るこの上なく魅力的な旅となるでしょう。

（大橋完太郎）



卒業生からのメッセージ

卒業論文では、メディアテクノロジーを利用したライブパフォーマンスについて研究しました。劇場で数多くの作品に携わる今、ライブパフォーマンスのあり方が更に変貌を遂げていくのを目の当たりにしています。まるで毎日がこの研究の延長のようで、探究心は尽きません。「芸術学」は、自分の好奇心を舵取りに、様々な知識の海へ自由に漕ぎ出せる、最高にスリリングで楽しい学問です。きっとあなたにしかできない、航海が待ち受けているはずです。

（2011年3月卒業 桐井環 梅田芸術劇場勤務）



社会学専修

社会学—自分のなかに社会があり、社会のなかに自分があることを発見するために。

社会学 sociology とは、社会 society の、学 -logy です、ということになりますが、それではピンと来ないかもしれません。家族社会学、都市社会学、犯罪社会学、文化社会学、遊びの社会学、スポーツの社会学、性の社会学などと並べてみるとかえってイメージが湧いてきます。社会にあるさまざまな集団（家族、村落、企業、都市、クラブ）、社会のなかで行われるいろいろな行為（犯罪、遊び、スポーツ、演技）、現代社会に形作られる特色ある関係（性、エスニシティ、流行、マスメディア）について研究する学問なのです。それはまた、そこから表現された文化（マンガ、音楽、文学、言語、価値意識）について独特の角度からアプローチします。

それを通して見えてくるのは、人間がいかに他者との関係のなかで自己を表現しようとしているか、いかに他者の存在を理解しようとしているか、という像であり、また、強固にそびえ立っているように見える社会がいかに人間のこのような心の多様な相互作用から成り立っているかということです。

授業では

1年生の10月、社会学の教員による「人文学基礎」が始まります。それぞれが関心をもつテーマを持ち寄り、文献調査・統計データの収集・インタビュー調査などを行い、テーマを掘り下げ、自分たちの見解をまじえながら発表し、討論します。専修が決定した2年生では、社会学の本格的な知識を身につけるため、「現代社会の変動に対応する新たな社会理論」「家族と人口の比較・歴史社会学」「社会学研究の多様な調査法（戦争・震災の集合的記憶を事例に）」「移動から見る現代社会の諸様相」など、多種の特殊講義が開講されます。また、2年生の10月からは、社会調査を本格的に行う実習が開始されます。3年生の10月、卒業論文のためのゼミが始まります。各人のテーマに合わせてそれぞれの教員に数人ずつ分属し、発表と討論を行います。あとは自力で40,000字の卒業論文執筆に邁進します。なお、2005年より社会調査士資格のプログラムが本格的に始まっています。



最近の卒業論文から

「共働きの夫婦における家事分担の意味」「『団地型』ニュータウンという生活領域」「モノに着目した『聖地巡礼』と文化振興」「阪神淡路大震災後のジェントリフィケーションに抗する地域社会」「現代社会におけるスポーツ観戦の変容—「内外のゲーム論」とカイヨワの遊び論を通じて—」「脱物質的消費観としてのミニマリズム」

卒業後は

希望職種の花形はマスコミ・出版関係です。テレビ、新聞、出版社、広告会社への就職者は毎年います。また、仕事の実感が欲しいと食品、電機など製造業関係に行く人もいます。そのほか情報、金融、教育、流通などのサービス産業分野も多くなっています。根強い職種は公務員、教員です。大学院の博士課程前期課程を経てそれらに就職する人も増えています。博士課程後期課程に進学し研究職、専門職を目指す人も毎年います。

教員からのメッセージ

あなたはこれまで、いろいろなことを決断してきたでしょう。しかし実はそうした「決断」も「社会」によって枠づけられたものかもしれません。「社会」という、目に見えないけれど確かに存在するものによって私たちの毎日は動いています。同時にその「社会」は、私たち一人一人の個人によって作られたものであり、決して固定的なものではありません。見方を変えるだけで、思いもしないものが見えてくる。こうした体験が社会学の醍醐味です。

（白鳥義彦）



卒業生からのメッセージ

社会学を一言で言うと、何でも研究できる学問です。ふとした時に「これを調べたら面白いことがわかるかも?」と感じたことがそのまま自分の研究になるくらい自由な学問だと思います。社会学を通じて私はアプローチ方法の多さを知りました。ものの捉え方、近づき方は決して一つではないという認識は、社会学以外のところでもきっと役立つと思います。皆さんが悔いのない大学生活を送り、さらには私が学んだような考え方を身につけることを、心から願っています。

（山口ありさ 2018年3月卒業 ラディックス株式会社勤務）



美術史学専修

イメージを解読して人類の文化と歴史に迫る今もっともスリリングな学問。

美術史学とは、人類の文化遺産である美術作品を研究する学問です。美術というと、趣味や道楽のようなものと思われがちですが、鑑賞用のきれいなものだけでなく、文字資料に対する視覚資料（イメージ）全体を扱う学問です。イメージは、文字で表現されるよりはるかに豊富なメッセージをもっていて、それを読み解くことによって、過去の人たちの考えや現代の文化の隠された意味や、思わぬ真実を探り出すことができます。作品が制作されたときの政治・経済・思想・社会的文脈に加え、それが現在にいたるまでどのような意味を与えられて受容されてきたかを考えます。そこでは、美術館にある名作や世界遺産といった歴史的な文化遺産だけでなく、建築や都市空間、ポスターや落書きなどの視覚的な表現、つまりイメージすべてが対象になります。モノを見ることがとにかく好きなのが、この学問の前提となります。現在残っているモノを研究することで、つねに好奇心が刺激され、歴史が身近に感じられるでしょう。さらに、美術鑑賞が今まで以上にスリリングな体験になるだけでなく、視覚的なセンスが磨かれて、それまで何気なく見ていた日常の風景や視界にいろいろな意味を見出すことができるようになるでしょう。

授業では

日本・東洋美術史と西洋美術史に大きく分けられます。スライドやビデオを使う講義では、広い時代と地域にわたる美術史を学べるようになっていきます。演習では、学生が自分の関心のある美術作品や美術家について調べて発表したり、原書や資料を読んだりします。それに加えて、近隣の美術館・博物館・寺社などに出かけて、現地で学芸員や教員の説明を受けて見学する演習もあり、多くの美術作品に肌でふれることができるようになっていきます。また、年に一回、国内の様々な場所に見学旅行に出かけ、有志で海外に行くこともあります。こうした活動を通して、研究室は非常にアットホームな雰囲気で、つねに活気にあふれています。さらに複数の日本美術史の優秀な専門家や客員教授を講師に招いており、体系的に美術史が学べる環境となっています。



教員の紹介

宮下 規久朗 教授

西洋美術史および日本近代美術史。学芸員としての経験から、現場を重視し、広く美術史全体について考えている。とくにルネサンス以降のイタリア美術史を中心とし、バロックの画家カラヴァッジョについて十冊ほどの著書がある。現代美術や美術の東西比較についても研究を重ねている。ここ数年は、毎年2冊以上のペースで、意欲的に著作を刊行している。近著に、西洋美術と日本美術を比較した『そのとき、西洋では』（小学館）や、『一枚の絵で学ぶ美術史 カラヴァッジョ《聖マタイの殉教》』（ちくまプリマー新書）、『聖母の美術全史』（ちくま新書）などがある。

最近の卒業論文から

「東寺講堂の諸像について」「金剛寺蔵《日月山水図屏風》について」「尾形光琳《紅白梅図屏風》について」「ナスカの地上絵について」「コレッジョ研究」「フェルメール研究」「アンディ・ウォーホルについて」「バンクシー研究」

卒業後は

多くの卒業生が、全国的美術館や博物館で学芸員として活躍しています。学芸員以外にも、各地の文化施設やコンサートホール、あるいは地方自治体の文化行政の仕事や、ギャラリーやオークション会社、出版社や広告代理店などのマスコミに多くの卒業生を輩出しております。また、留学生も多く、彼らは自国に帰って、いずれも大学や美術館の第一線で活躍しております。

Message

教員からのメッセージ

美術史ほど楽しい学問はありません。ただ、美術史は高校までの美術の授業（「お絵かき」）とはまったく違って、イメージを歴史的に解読するれっきとした学問です。本を読むより、とにかく「見る」ことが好きな人間には向いているといえるでしょう。この研究室は、小じんまりしていますが、和気あいあいとしていて、学生と教員、卒業生とのつながりも深く、美術史をしっかりと学ぶには最適の環境だと思います。



（宮下規久朗）

卒業生からのメッセージ

美術史学は研究対象となる分野が幅広く、実際に作品と向き合って比較分析等をするのを大切にしているので、多様な見識を得られましたし、何より美術への造詣が深いことは一生の財産になると社会人になった今確信しております。興味深い講義や研究室での集まり・行事も多く、先生も学生も皆個性的で面白い人ばかりなので、充実した大学生活を送ることができました。友人・先輩後輩・先生方に大変感謝しております。

（田中理嵯 2014年3月卒業 株式会社ケイ・オプティコム（通信））



地理学専修

「私たちはどんな世界を生活しているのか？」—空間からはじまる歴史・文化・社会への新たな問い

地理学とは、人間社会の基盤ともいえる「空間」を対象とする学問です。人間は土地と関係しながら生を営む生き物であり、社会はその舞台である空間を抜きにしては成り立ちません。ですから「空間」という視点からの問いは、人間の歴史や文化、社会や経済を根本から考えることにつながります。学問分野としての地理学には長い歴史がありますが、グローバル化する現代社会のなかでその視点はますます重要なものとなっており、哲学や社会学、心理学や建築学といった分野との対話と交流が世界的に広がっています。

さまざまな土地を足で歩き、自分自身の目で風景や景観を観察し、そこに生きる人びとの声に耳を傾けるフィールドワークは、もっとも基本的な地理学の姿勢といえましょう。そこから自分なりの「問い」を生み出し、地図や文献や統計などの資料を読み解いたり、理論的な視点を磨いたり、試行錯誤していくことが地理学の営みとなります。そうした営みを経ることで、現代世界を新しい視点で読み解くことができるようになるでしょうし、また、積み重ねた試行錯誤の経験は、これからの社会を歩んでいくうえでかけがえのない財産となるでしょう。

授業では

講義では、専任教員による「地理学概論」、「歴史地理学」、「地域環境学」、「人文地理学」などのほか、非常勤講師により「自然地理学」、「地誌」など、多彩な科目が開講されています。また3年生前期からは専修学生のみによる少人数（5人前後）の演習が必修となり、1年4回の発表で鍛えられていきます。発表1週間前には要旨を配布する義務があり、また仲間の発表に対しては活発な発言が求められます。演習の集大成である卒業論文のテーマは、学生の意志が尊重されますが、まずフィールドや史料資料に没入し、その上でオリジナルな視点を追究することが卒業論文の最終目標です。

また2年生の必修である実習は、夏季の現地調査を頂点に展開され、この数年は筑豊、北九州、広島などで、各自がそれぞれのテーマを設定して調査を行っています。



最近の卒業論文から

「姫路モノレールに対する場所イメージの変遷」「元町高架下商店街におけるグラフィティ —「明るさ」と「暗さ」に着目して—」「福祉サービスの利用と地域的公正」「路上における宣伝活動を通しての都市空間の経験—大阪・ちんどん通信社を事例に—」「ネットワークからみたボランティア団体に関する地理学的考察」「鉄道会社の郊外開発による遊興空間の創出と地域の変容」「江戸時代の船乗りたちの認知距離」

卒業後は

過去の卒業生の進路は、大学院修士課程・博士課程前期課程進学（京都大学文学研究科、神戸大学人文学研究科）、教員（兵庫県、大阪市、京都府、奈良県、私立洛南高校など）、公務員（労働基準局、大阪府、岡山県、岡山市、京都市、西宮市、大垣市、香川県）および企業（川崎重工、毎日放送、能勢電鉄、ゼンリン、日興コーディアル証券、NTTドコモ、エヌエス、富士通テン、NTTコミュニケーションズ、日本コロムビア、日本鉄道建設公団など）と多彩です。

教員からのメッセージ

地理学とは、単純に言えば、地域／景観／場所を調査する学問です。そのため地図や統計などからの情報収集はもちろん、実際に調査地を歩き、現地の人々と折衝することで、五感を通じて身体的にそれらを理解していくことが重要となります。地理学専修では、フィールドワークや実習で各地を回ります。参加者が各自事前に準備をして発表し、現地調査を行うのです。そうして徐々にスキルアップし、一端のフィールドワーカーへと成長していきます。



（原口剛）

卒業生からのメッセージ

たとえば、知らない町を旅するとき、いつもと違う道から下校してみると、ふと路地裏に足を踏み入れるとき。ワクワクしたり、意外な発見をしたり、そんな経験はないでしょうか。土地に交わるという経験は、様々な興味や気づき、ときには疑問を私たちに与えてくれます。

地理学専修では、講義や演習に加えて実習科目が設けられています。文献を読み、実際に歩いてみるという「二本立て」の実践を通して、より厚みのある学びが得られることでしょう。何より、外へ出て、自分の目で見てその場所を体感する、それはこの上なく知的な好奇心が刺激される体験ですよ！

あなたも、地図を片手にまちへ出かけてみませんか？

（川上万葉 2016年3月卒業 阪神内燃機工業株式会社）

神戸オックスフォード日本学プログラム



神戸オックスフォード日本学プログラム(KOJSP)とは、オックスフォード大学東洋学部日本学専攻の2年次生全員が、一年間神戸大学で学ぶというプログラムです。現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年10月から受け入れた第9期生が、来日の機会を待ちながら、オンラインで日本語演習の授業(週5日10時間)と、文学部で開講される専門科目を受講し、インターナショナル・アワーなどの交流イベントにも参加しています。8月上旬の修了式では、各学生が選んだトピックに関する研究発表会が予定されており、一年間の勉学の成果を披露してもらえることになっています。

例年のプログラムでは、この他にもホームステイや淡路農業体験、各地へのツアーなどに参加して、日本のさまざまな面について広く学んでいます。また広島グローバル・アクティブ・ラーニングなどの行事を通じて、文学部・人文学研究科の他の学生との交流のきっかけを提供しているほか、神戸大学附属中等教育学校やブリティッシュ・カウンシルとの交流会など、学外にもアカデミックな交流の場を広げています。

本プログラムに関連する形で始まった活動として、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジでの夏季プログラムがあります。これには毎年10数名の神戸大学学生が参加し、英語や英国文化を学んでだけでなく、オックスフォード生をはじめとする外国人学生との交流の輪をさらに広げています。このように神戸オックスフォード日本学プログラムは、文学部・人文学研究科における国際交流の大きな原動力となっています。

オックスフォード夏季プログラム

オックスフォード大学(University of Oxford)のハートフォード・カレッジ(Hertford College)での約3週間の夏季プログラムです。英国歴史・文化・社会・文学などのトピックに基づいた英語学習を行います。プログラム期間中、参加者はキャンパス内の寮に宿泊し、オックスフォード大学生のRA(Residential Advisor、寮生活アドバイザー)による学習・生活のサポートがあります。授業後や休日にはRAが企画する課外活動などに参加し、異文化交流を楽しむことができます。



オックスフォード大学ハートフォードカレッジ



enjoy!

教員のプロフィール

イベントの開催や日本社会文化論の講義等を担当

専門は近世・近代日本思想史、日本文化論。『神皇正統記』などの古典の受容史や、日本人のアイデンティティの形成について研究。



齋藤 公太先生

※佐藤 昇先生の紹介は13ページへ

KOJSPプログラムでは、論文演習や日本社会文化論の授業を担当

専門はフランス文学・思想及び北欧ジェンダー学。民衆法廷など、21世紀における社会参加の在り方を研究。文学部の国際交流企画「グローバル・アクティブ・ラーニング」では広島での平和学習プログラムを引率し、留学生と現地の学生や平和活動家と共に国際研修を実施。



南 コニー先生

message

国際交流・留学について

グローバル化の時代といわれる今日、神戸大学文学部でもさまざまなレベルで国際交流が行われています。多彩な外国語・外国文学の講義はもちろん、最近では外国からの留学生の受け入れ、学生の外国大学への留学、外国の大学との学術交流協定などに、特に力を入れています。

01 多彩な外国語・外国文学教育

現在文学部では、英米文学・ドイツ文学・フランス文学・中国文学・日本社会文化論で外国人の教員が講義や演習を担当していますが、そのほかにも韓国語・中国語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・西洋古典語(古代ギリシャ語とラテン語)の語学教育が行われています。また、アラビア語・ペルシア語を用いた授業もあります。



「グローバル・アクティブ・ラーニング(広島)」研修旅行

02 留学生受け入れと交流の状況

文学部への留学生は、大学院生あるいは大学院への入学をめざす研究生、また、オックスフォード大学をはじめとする協定校からの交換留学生が大半です。現在、16カ国・102名の留学生が文学部と大学院人文学研究科で学んでいます(令和3年5月1日現在)。

さまざまな国の留学生と触れ合い異文化を理解し合うことができる教育環境は、グローバルな視野をもって研究を進める上で欠かせないものです。そうした観点から、文学部では、授業における日本人学生と留学生との議論はもちろん、留学生と日本人学生との交流が深まるように、さまざまな活動を行っています。例えば、毎月1回のインターナショナル・アワーを実施し、春には留学生と日本人学生合同の日本文化見学旅行を、冬には国際的な学術文化交流を目的としたシンポジウムと交流会を開いています。

03 文学部からの留学と外国の姉妹校

文学部の学生は、在籍したまま下記の協定校に留学することができます。

文学部との部局間協定大学	
国名	大学等名
大韓民国	韓国外国語大学校 日本語大学
中華人民共和国	鄭州大学美術系 浙江大学人文学院、 伝媒と国際文化学院 香港大学文学院 東北大学外国語学院
ドイツ	ハンブルク大学人文学部 アジア・アフリカ研究所
ポーランド	ヤゲウォ大学哲学部
ルーマニア	「ディミトリエ・カンテミル」 キリスト教大学外国語学部
オーストリア	インスブルック大学社会・ 政治学部
クロアチア	ブーラ大学人文学部
セルビア	ベオグラード大学

※他にも協定校があります。(大学間協定校等)

留学体験

ジュリア・フォラン
(KOJSP第8期生)



私は9年前に日本に興味をもったときに、「勉強で頑張ったら、いつか大学で日本語を専攻して、コースの一部として日本で留学することができます。」と言われました。そして、このKOJSPプログラムに参加することで、私の夢が叶いました。

KOJSPプログラムでは日本語の授業が毎朝あり、他の文学部の授業も取ることができます。このように、私は日本史や中国語の言語学のような自分に興味がある授業を日本語で勉強することができました。授業の内容だけではなく、オックスフォードととても違う環境で勉強するのはとても面白くて、私が日本を理解する上でとても貴重な経験だと思います。

そして、勉強している日本語を使う機会は授業に限らず、日本人の友達もできました。私は政治や国際関係に興味があるので、私と同じように社会問題に関心がある神大の日本人学生たちに会って、彼らとよく色々な論議に参加できることは、とても喜ばしいことです。そして、論議によりよく参加できるようになることは、授業の成績以外のとても大事な勉強のモチベーションになってきました。

日本に来ることができる前に、日本の文化や生活についての本を読むことでたくさん時間を過ごしました。コンビニで買える冷たいお茶やおにぎりとか、季節とともに変わる景色の様子とか、このようなとても普通なことでも自分の目で見られるのは本当に楽しいです。また、興味があるテーマについて日本語で書いた本も、簡単に手に入るのは幸せなことです。今新型コロナウイルスのため、日常生活は大きく変わりましたが、また普通のように出かけられる日がくるまで、オンラインレッスンで頑張ったり、前に買った本を読んで勉強したりするつもりです。

私の神戸大学での留学は、いつまでも心に残る素晴らしい経験です。神戸大学に対して、そして日本に対しても本当にありがたい気持ちです。

留学体験

畠田 美宙
(ドイツ文学) 2021年3月卒業生



私は、2019年9月から半年間、ドイツのトリアー大学に交換留学生として留学しました。トリアーでは最初に1か月にわたるオリエンテーション期間があり、ドイツ語のコースと諸手続きを留学生全体で行います。学期中は、ドイツ語やドイツ文学の授業を中心に受講していました。バス遠足や言語交換など、留学生のためのイベントも充実しています。

留学中は、日本学科の生徒と言語交換を行ったり、自分の研究テーマについて専門の先生に尋ねたり、図書館で資料を読んだりしていました。ドイツ文学を専門にしていますが、実際に本場ドイツの大学で勉強して、入ってくる情報の違いを身に染みて感じました。授業ではヨーロッパ史など幅広い知識が当たり前のように話題になり、また図書館の文献も日本とは比べ物にならないほど多く、もちろんすべての知識はドイツ語で入ってきます。その一方で、神戸大学で先生が仰っていたのと同じことが現地で取り扱われていると、遠く離れた国の文学について日本で当たり前で学べることの素晴らしいさを感じました。

留学の目的は人それぞれだと思いますが、「異文化に触れたい」「グローバル社会で活躍できる人間になりたい」というのは大きな理由になると思います。ただし、それに加えて現地で専門的な勉強ができるのは、2年生から専修に分かれる文学部での留学の強みだと思います。私にとっての挑戦だったこの留学が、良き人生経験になったことは間違いありません。

大学院への進学



変わりつつある大学院＝新たに人文学研究科を設置

これまで、大学院は2年間の修士課程（文学研究科）と3年間の博士課程（文化科学研究科）に分かれていましたが、2007年4月にこれらを改組して5年間一貫の大学院「人文学研究科」を設置しました。これは、現代社会における科学技術の進化とグローバル化する社会システムの大規模な転換の中で、価値規範の動揺あるいはアイデンティティの喪失といった事態への対応や、地域社会の成熟にふさわしい新たな社会規範を創成する人材が必要になってきたという認識に基づき、そのような人材を養成するために設置したものです。

人文学研究科は、従来の大学院が培ってきた人文学各学域の高次の専門性と総合性をいっそう発展させ、人文学の古典的な役割を継承しながら、現代的な課題に対応しうる人材養成のための教育研究システムを構築しています。

大学院人文学研究科には、
まず2年間の博士課程前期課程があります。

博士課程前期課程（2年間）

【入試】	
7月（特別入試）	研究計画等に関する口述試験（面接）
9月（第I期）	筆記試験（語学と専門科目） 「研究の概要」等に関する口述試験
2月（第II期）	筆記試験、卒業論文（またはそれに 準ずる論文）等に関する口述試験

- 所定の単位を修得し、研究成果を修士論文としてまとめ上げ、修了することになります。
- 学部の勉強が、人文諸学の基礎的素養と方法論をマスターすることを主眼とするのに対して、博士課程前期課程では、それらを土台にしながら、オリジナルな研究を進めることが求められます。
- 博士課程前期課程の段階で、学界から評価される研究成果を発表することが大切です。

さらに研究を進めたい場合には、
3年間の博士課程後期課程に進むことができます。

博士課程後期課程（3年間）

【入試】	
2月	筆記試験、論文（修士論文）に 基づく口述試験（面接）

- 博士課程前期課程の場合と同様に大学の中で研究するだけではなく、多くの場合はそれぞれ研究分野の学会に所属し、研究成果を論文や口頭報告などの形で発表し、研究者同士で議論する場に参加していきます。
- 修士論文よりも高い水準の研究を進めることになります。そして、研究成果を課程博士学位論文としてまとめることが目標になりますが、その研究成果は、世界で今まで誰も論じたことがなかった本当の意味でオリジナルな論文となることが求められます。

他大学・諸外国に開かれた大学院

大学院には留学生の数が多く、国際交流の機会が広がるという特色があります。神戸大学から他大学の大学院へ進学することももちろん可能です。大阪大学、奈良女子大学、神戸市外国語大学などの大学院とは単位互換の協定を結んでいて、他大学との交流も盛んに行われています。研究内容が外国にかかわっている場合には、大学院在籍中に留学するケースも増えてきています。

大学院修了後の進路

大学院修了後の進路としては、博士課程前期課程の場合、専門的知識を生かした中学・高等学校教員、高等専門学校教員、博物館・美術館学芸員などへの道が開かれています。民間企業やジャーナリズムの世界においても、専門的な知見を生かして活躍することが期待されています。博士課程後期課程の場合、大学や研究所等に研究者として勤務することが期待されますが、そのためにはよりいっそうの学問的な研鑽が求められます。

研究者への道は確かに厳しいものです。しかし、真に創造的な学問を作り出していくことに自分の人生を賭けるということは大変に魅力的なことであり、このような道もみなさんには開かれています。

就職について



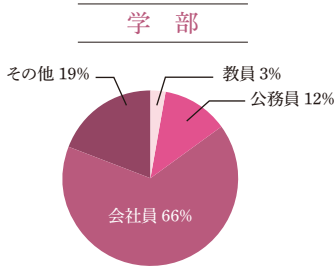
過去三年間の就職率と進学率

学 部	
【進学率】	【就職率】
14.0%	平成30年 79.3%
14.7%	令和元年 81.0%
15.6%	令和2年 69.2%

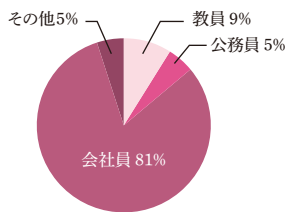
大学院

【進学率】	【就職率】
27.7%	平成30年 57.4%
35.0%	令和元年 50.0%
14.9%	令和2年 46.8%

就職先の割合



大学院



最近3年間（2018～2020年度）の就職先企業等。（ ）の無い場合はすべて1名。

就職先企業一覧

教員

兵庫県立高等学校教員(3) 京都府立高等学校教員 広島市立高等学校教員 滋賀県立高等学校教員 石川県立高等学校教員 大阪府立高等学校教員 鳥根県立高等学校教員 奈良県立高等学校教員 姫路市立高等学校教員 香川県立養護学校教員 大津市立中学校教員 広島県立学校教員 富山県立学校教員 京都共栄学園教員 甲南学園甲南高等学校・中学校教員 関西大倉学園教員 開智中学校・高等学校教員 淳心学院中学校・高等学校教員(2) 金蘭千里中学校・高等学校教員 東洋大学付属姫路中学校・高等学校教員

公務員

近畿厚生局 大阪労働局(2) 労働基準局 愛知労働局 近畿財務局 中国財務局 広島国税局 大阪国税局 神戸地方税務局 大阪法務局 京都地方税務局 大阪航空局 航空局 近畿地方整備局(2) 近畿運輸局 国家公務員一般職 国家公務員総合職 大阪地方裁判所(3) 神戸家庭裁判所 広島地方裁判所 大津地方・家庭裁判所 名古屋高等裁判所 和歌山地方裁判所 兵庫県庁(2) 岡山県庁 茨城県庁 京都府庁(2) 佐賀県庁 石川県庁 大阪府庁 長野県庁 奈良県庁 富山県庁 兵庫県教育委員会 広島県教育委員会 大阪府警察 神戸市役所(6) 明石市役所 尼崎市役所(2) 京都市役所 岐阜市役所(2) 岡山市役所 糸魚川市役所 鹿児島市役所 吹田市役所 名古屋市役所 養父市役所 香川さぬき市役所

不動産・賃貸・管理業不動産

積水ハウス不動産関西 三井不動産レジデンシャル 三井不動産リアルティ(3) 関電不動産開発 近鉄不動産(2) 大和ハウス工業 ミサワホーム近畿 アーク不動産 ウィル(2) 日住サービス フォーシーズ ザイマックス関西 イオンモール イオンタウン

金融・証券・保険

三菱UFJ銀行(2) 三菱UFJ信託銀行 三井住友銀行(2) 三井住友信託銀行 大和証券グループ リソナ銀行(2) 新生銀行 みなと銀行 ゆうちょ銀行 南都銀行 四国銀行 中国銀行 北國銀行 みずほフィナンシャルグループ 三井住友カード 東京海上日動火災保険(3) 野村證券 新生フィナンシャル 中小企業基盤整備機構 近畿産業信用組合

卸売業・子売業

阪急阪神百貨店(2) 大丸松坂屋百貨店(3) ローソン(2) イオンリテール(2) 住友商事(2) 神戸マツダ AOKI コーチ・ジャパン 日本出版販売 イズミ トーハン EH コスモス薬品 今井書店 ロフト

情報通信

NTT西日本 共同通信社 信濃毎日新聞 福島民報社 読売新聞大阪本社 関西テレビ放送 熊本放送 NTTドコモ オプテージ 日本電気 リクルート 新日鉄住金ソリューションズ 内田洋行(2) ジャステック(3) パンダイナムコエンターテインメント USEN ぐるなび キー・ポイント ジュビターテレコム アイル(2) ナノコネクト RADIX STNet ウィズ マーキュリーゲームスタジオ SRIシステムズ CMC Solutions アルファシステムズ インテック(2) イデア・コンサルティン グ プラットシステムソリューションズ digmee シンクロ・ブード クロスユー・アイエス アーザス D.A.コンソーシアムホールディングス

製造業

森永乳業(2) 山崎製パン(2) 東京書籍 富士電機 三菱電機 神戸製鋼所 日立製作所 小松製作所 住友化学(2) 三洋化学工業 三菱瓦斯化学 三菱重工冷熱 富士電子工業 富士通 武蔵野 東レ デンソーデン(2) イソライト工業 ルミカ カブコン 菱友システム技術 大和紙器 酒井硝子 ケイミュー 日本食研ホールディングス ナニワ トンボ トッパン・フォームズ カナセキユニオン コニカミノルタジャパン カクダイ ショーワグローブ オーバーラップ パナソニック 日本製紙 岩岡印刷 宇部興産機械 KSK ディー・エイチシー

運輸業・郵便業

日本郵便(2) 東海旅客鉄道 南海電気鉄道 大阪高速鉄道 日本貨物鉄道 日本通運 三菱電機ロジスティクス SGホールディングス 全農物流 三井倉庫HD フェリーさんふらわあ

サービス業ほか(上記以外)

日本航空 阪急交通社 ダスキン 伊藤忠ファッションシステム サンリオ オリックス自動車 NECキャピタルソリューション 住友林業 関西電力 広島ガス 四国電力 アップ教育企画(2) トライグループ(2) 竹中工務店 苫小牧工業高等専門学校事務職 京都大学事務職 博報堂プロダクツ デロイトトーマツ クラブツーリズム ラウンドワン(2) ANAセールス 松竹 WAVE(3) イオンディライト 岡墨光堂 ベクトル(2) 日本弁理士会 龍野商工会議所 プレインバンク ティエラコム 松永塾 トライステージ SATO社会保険労務士法人 リンクアンドモチベーション セコム(2) 臨海 マルクス 特別養護老人ホーム年輪 日本保育サービス レバレッジキャリア 安藤ハザマ 中央復権コンサルタンツ 阪神高速技研 三菱ケミカルエンジニアリング 日本赤十字社 国際交流サービス協会

人文科学図書館

人文科学図書館には、人文科学系の資料を中心に、和漢洋の図書が約32万冊、雑誌約3,550種類等が所蔵されています（2021年3月末現在）。また、今では入手困難な古典の文献や、18世紀の原書（*Historia critica philosophiae*）や「正倉院文書」（写真複製）等の貴重なコレクションを有しており、研究や学習に活用していただけます。

館内設備の利用

- グループで相談しながら学習できる「ラーニングコモンズ」には、約 50 席分の可動式机と椅子、プロジェクターや大型モニターなどが備わっています（予約不要）。

提供サービス

- 学内の他の図書館・室にある資料や、学外の資料も、人文科学図書館に取り寄せたり、訪問して利用したりすることができます。
- 備え付けのパソコンでは、蔵書検索・論文検索等のデータベースが利用できます。
- 無線 LAN 設備が整っているため、持ち込みのノートパソコンを利用することができます（アカウントが必要）。



開館時間・サービス時間・休館日

	通常期		休業期	
	平日	土曜日	平日	土曜日
開館	8:45～21:00	10:00～18:00	8:45～17:00	—
文献コピー（コイン式）	8:45～21:00	10:00～18:00	8:45～17:00	—
レファレンス	9:00～17:00	—	9:00～17:00	—
マイクロ・NDL デジタル化資料	9:00～16:45	—	9:00～16:45	—
他大学図書館利用申込	お申込みは随時受け付けします。紹介状は訪問先に問い合わせ後、発行します（受け渡しは後日）。			
本・被写物申込（他大学から）	常時アカウントサービスで受付			
本・被写物受取（他大学から）	8:45～16:45	—	8:45～16:45	—

休館日

●日曜日・祝日 ●館内整理日（原則毎月第2火曜日の13時まで） ●夏季一斉休業日（8月13日～17日） ●年末年始（12月28日～1月4日）
※臨時休館する場合はWEBサイトや掲示等でお知らせします。

学内図書館

- 神戸大学には、人文科学図書館を含め9の図書館・図書室があり、学生は全ての図書館・室をそれぞれの条件で自由に利用できます。



最新情報と詳細は WEB ページをご覧ください。
<https://lib.kobe-u.ac.jp/libraries/list/jinbun/>



情報時代の文学部



文献データベースをはじめ、情報技術を利用した学習・研究環境を都との逢えるために、文学部では情報関連設備の拡充に力を注いでいます。すべての研究室には情報コンセントが整備され、いつでも利用可能なコンピューター室も用意されています。このような環境を積極的に活用して、皆さん独自の研究成果を生み出していきましょう。



多くの専修がホームページを開設していますので、そちらもご覧ください。
<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/undergrad/index.html>



大学生活をめぐる



奨学金の制度はどのようになっていますか？

国、地方公共団体及び民間の育英奨学事業から奨学金が受けられます。このうち、国の育英奨学事業を行う独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の種類は、下記のとおりです。

- ①給付奨学金
- ②第一種奨学金（無利子貸与）
- ③第二種奨学金（有利子貸与）

奨学金を受けるためにはさまざまな条件があり、希望者が多い場合は選考が行われることもありますので、希望する場合は掲示や配布書類をよく読んでください。

入学科や授業料の免除制度はありますか？

神戸大学としては、国の高等教育の修学支援新制度を利用していただきます。
詳細は文部科学省ホームページを参照してください。

学生寮はあるのでしょうか？

神戸大学には5つの学生寮（うち、男子専用寮と女子専用寮が1つずつ）があります。定員は約800名で、寄宿料は共益費と合わせて月額10,700円～24,000円程度です。

下宿やアパートの紹介はしてもらえますか？

神戸大学生生活協同組合などが随時紹介しています。入学前の3月には、特に新入生向けの紹介が行われます。

神戸大学生生活協同組合（生協）とは何ですか？

学生、教職員の出資金によって運営されている団体で、さまざまなサービスの提供を行っています。各キャンパスにはそれぞれ生協の運営する食堂があります。文学部のすぐ南にはLANS BOX店があります。また、書籍部では7～10%の割引で本を購入でき、授業に必要な教科書、参考書も取り扱っています。そのほか、文具、パソコンなどの電化製品など、学習や日常生活に必要なものも販売しています。引越しや旅行の手配もしてくれますし、プレイガイドでは各種チケットも取り扱っています。

アルバイトをしたいと思うのですが、紹介してもらえるのでしょうか？

アルバイトを希望する学生には、神戸大学がアルバイト紹介業務を委託する神戸大学生生活協同組合でアルバイトのあっせんを行っています。

授業は何時から何時まで行われるのですか？

1時間目の開始時刻は午前8時50分、5時間目の終了時刻は午後6時30分です。5時間目に行われる授業はあまり多くありません。

授業の合間に勉強できる部屋はありますか？

文学部に隣接して人文科学図書館があり、そこで本を読んだり勉強したりすることができます。インターネットの利用も可能です。また、各専修には読書室と通称されている共同研究室があり、そこで勉強したり休憩したりすることも可能です。学舎の1階には学生ラウンジ、各階には机と椅子を設置し自由に利用できる空間も設けています。

教材のコピーや印刷はどうするのですか？

授業で使うプリントなどは教材用の印刷機で印刷することができますが、私的な利用はできません。コピーは生協でコピーカードを購入すれば、図書館のコピー機を利用することができます。硬貨を投入して利用するコピー機も図書館や生協の店舗に置かれています。

クラス制度はあるのですか？

現在、神戸大学文学部にクラス制度はありません。大学からの連絡はすべて掲示を通じて行われます。2年生以上は各専修が文学部での活動の基礎的な単位になります。

サークルなどの課外活動は盛んですか？

サークルには大きく分けて、文化系、体育系、研究会系及び応援団の四つがあります。文化系・体育系のサークルには、全国レベルで優秀な成績を挙げているものもあります。応援団は、体育系サークルの応援のほか、学園祭のステージ企画、新入生歓迎企画なども行っています。研究会系のサークルは、読書会などの地道な活動のほか、他大学の同様のサークルと討論会を行うなどの活動をしています。

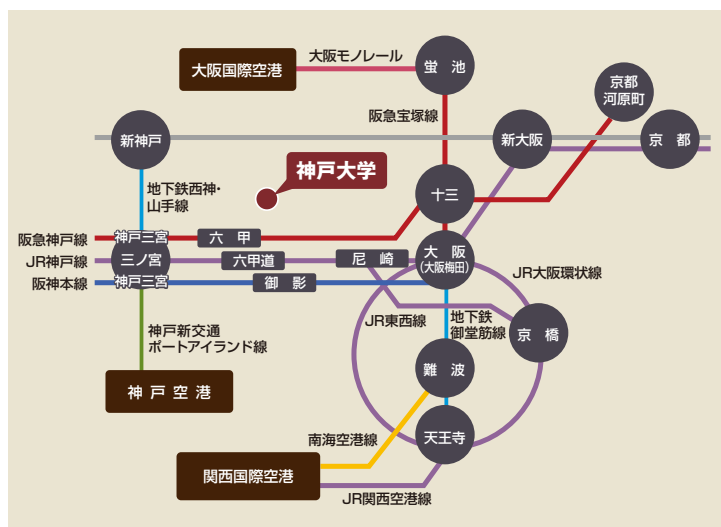
大学の行事といえばまず学園祭を思い浮かべますが、神戸大学ではどのようになっていますか？

全学的な規模の学園祭として、六甲台キャンパスで毎年11月に行われる「六甲祭」があり、大変にぎわいます。

文学部にはどんな行事がありますか？

文学部としての公式行事はありませんが、各専修やゼミ単位での懇親会や旅行などは盛んです。学生同士の、あるいは教員を囲んでのこうした催しは、大学生活ならではのものです。全学で卒業生を招いて行うホームカミングデーでは、文学部独自の催しを行っており、学生も参加しています。このほか、文学部同窓会（文窓会）主催の学生レポートコンテストや卒業記念パーティーなどもあります。

Access Map アクセスマップ



..... バス路線

最寄り駅から文学部まで

- 徒歩：阪急「六甲」駅から約15分
 バス：神戸市バス36系統「鶴甲団地」行き、または「鶴甲3丁目」行き乗車、
 阪神「御影」駅から約25分、JR「六甲道」駅から約15分、
 阪急「六甲」駅から約10分、「神大文理農学部前」下車
 タクシー：阪神「御影」駅から約20分／JR「六甲道」駅から約15分／阪急「六甲」駅から約10分



神戸大学文学部

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/>

● 問い合わせ先

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
 神戸大学文学部教務学生係
 電話 078-803-5595
 Email: lkyomu@lit.kobe-u.ac.jp